

# 剣道

No. 153

6・7月号

三木市剣道連盟

広報部

2011(平成23)年

7月19日(月)

発行

○第39回中兵庫少年剣道大会 (1・2面)

○第44回兵庫県少年剣道の集い (3・4面)

○6・7段昇段者の声 (5・6面)

○東播地区協議会稽古会・指導法審判法講習会 (7面)

○県高校総体結果・月々の便り(8面)

◎三木市剣道連盟HP  
(<http://mikikenren2011.web.fc2.com/>)

紫雲館剣道場HP([www.eonet.ne.jp/~tkomu/siunkan/index.htm](http://www.eonet.ne.jp/~tkomu/siunkan/index.htm))に掲載中。PDFでカラー印刷できます。郵送不要の節は連絡ください。

選手宣誓は、地元の一人の女の子(西脇と黒田庄のキャプテン)がさわやかにいった。次いで優勝旗が、前年優勝の小学生「枝吉己勝館」(西神)、中学生「吉川剣道スポーツ少年団」

## 第39回 中兵庫少年剣道大会

### さながら吉川デー

(平成23年5月29日(日)) 於 西脇市総合市民センター(体育館)

## 小・中団体に 揃って優勝旗

台風2号が本土に接近し、前日から降り続く雨が一層激しくなる中、「第39回中兵庫少年剣道大会」は、西脇市に於いて行われ、選手約400名、大会関係者200名併せて600名が参集した。

試合は、個人戦として、女子のみ、小学生低学年(23名、同高学年(33名)、それに中学生(30名)が力比べ、一方団体戦で



優勝を決めた吉川の小学生チームと手島監督

は、小学生(35チーム)、中学

生(26チーム)が優勝を争った。

開始間もなく当地にも大雨警報が発令され、緊迫した中で、予定より10分早めて開会式が始まった。選手、保護者、大会役員らが勢ぞろいする中、来賓として挨拶に立った地元西脇市の教育長、三崎紀男氏は、3月11日の東日本大震災を経験した我々が教訓として学んだことの中で、今日剣道をする意義について、少年剣士たちにもわかりやすく説いたあと、子供たちが最近生活の中で見つけた「いい言葉」の一つを紹介した。

それは、地元西脇の小学6年生、足立真帆さんにお母さんが言った言葉、「コツコツ努力するの才能」(試合に負けても毎日巻まず稽古を続けられるのは、立派な才能だ。)というものだ。紹介された足立さんのお母さんの言葉は、参加した選手の胸に強く響いた。

(三木)から返還され、開会式は終わった。

試合は個人戦から開始され、全6コートで一斉に行われた。我が三木市からは、吉川の三藤暢子さんが小学生高学年の部で準優勝、別所の成瀬沙弥さんが小学生低学年の部で3位に入賞した。入賞者次の通り。

#### 【小学生低学年女子】

- 1位 西野 瞳(小野柳心館)
- 2位 松山千夏(つつじが丘)
- 3位 成瀬沙弥(別所)
- 3位 岡野美優(社剣道)

#### 【小学生高学年女子】

- 1位 植田華加(己勝館)
- 2位 三藤暢子(吉川)
- 3位 足立夏帆(西脇)
- 3位 村上瑞保(黒田庄)

### 【中学生個人戦女子】

- 1位 川村さくら(尚勇館)
- 2位 荒木七海(北条)
- 3位 山崎萌子(すずかけ)
- 3位 宮本紗季(すずかけ)

### 吉川、快進撃！

#### (団体戦)

小学生団体の部には、三木から5チームがエントリーし、それぞれ3チームのリーグ戦を戦ったが、吉川以外見るべき活躍はなく、早々と姿を消した。

唯一、吉川剣道スポーツ少年団チームは、次々に相手を退け、一気に優勝戦まで駆け上がった。この大会より少し前、たつの市新宮で行われた全県の道場連盟の大会で、小・中が揃って準優勝したという実績が自信を付けているのだろう。

前年度優勝者で、実力もある西神、枝吉己勝館との決勝戦でも、前半の劣勢を見事ひっくりかえし、そのまま逃げ切った。

勝者同数、わずか1本の本数勝ちだったが、優勝戦にふさわしい、白熱した好試合だった。

一方、中学生団体の部でも、過去5年間常勝だった三田市のつじが丘や己勝館など問題にせず、決勝戦で、同教室のAとBが覇を争うという、実力の違いを見せつけた。結局Aチームが勝利したが、Bチームとそれに遜色のないフ

アイト溢れる試合を展開した。団体戦では小・中学生共吉川チームが優勝し、2本の優勝旗1個の準優勝杯を受け取った。この大会の小学生団体で三木勢が優勝したのは、平成13年「三木平田」以来10年ぶりである。中学生は2連覇。

#### 小・中学生団体戦の吉川チームの戦績

##### 【小学生団体戦】

- 一回戦リーグ戦
  - 吉川 4 | 0 船城
  - 吉川 3 | 0 柳心館B
- 二回戦(トーナメント)
  - 吉川 2 | 2 つじが丘(本数勝5 | 4)
- 準決勝
  - 吉川 3 | 1 尚勇館
- 決勝
  - 吉川 1 | 1 己勝館(本数勝4 | 3)

※決勝戦の結果は以下の通り

	先	次	中	副	大	
吉川	石原	池田	三藤	岡坂	橋間	4/1
	⊖	×	×	⊗	×	
己勝館	×	⊖	×		×	3/1
	植田	藤岡	藪口	藤井	岡森	

##### 【中学生団体戦】

- 吉川Aの対戦成績(決勝まで)
  - 一回戦リーグ 吉川A3 | 0 船城
  - 二回戦 吉川A3 | 0 すずかけB
  - 三回戦 吉川A2 | 0 尚勇館A
- 吉川Bの対戦成績(決勝まで)
  - 一回戦リーグ 吉川B3 | 0 社A
  - 二回戦 吉川B2 | 0 黒田庄
  - 三回戦 吉川B1 | 0 加西スポA
- 決勝戦
  - 吉川A 1 | 1 吉川B(勝数3 | 2で吉川Aが優勝)

決勝戦 吉川AB対決

	先	中	大	
吉川A	橋間	川崎將	石田	3/1
		×	⊗	
吉川B	⊖	⊖	川崎蘭	2/1
	浅井	岡坂		

吉川B 準決勝戦

	先	中	大	
吉川B	浅井	岡坂	川崎蘭	4/2
	⊗	×	⊗	
己勝館		⊗		1/0
	鈴木	石倉	藤岡	

吉川A 準決勝戦

	先	中	大	
吉川A	橋間	川崎將	石田	5/2
	⊗	⊗	⊗	
尚勇館A	×			1/0
	落合	下原	芦田	

# 吉川、殊勲の準優勝！

## 第44回「兵庫県少年剣道の集い」（6月26日 王子スポーツセンター）

県内少年剣道の大会の中で、最大且つ最も精銳が集う、年一回の恒例「兵庫県少年剣道の集い」は、今年44回を迎え、6月26日（日）、神戸市立王子スポーツセンターを会場に行われた。全県から集まったチームは99

チーム、「今年こそ」と意気込む。三木市からは、吉川、志染、自由が丘、三木中央、緑が丘の5教室が参加した。中でも、1月前の「中兵庫少年剣道大会」（於西脇市）で、圧倒的強さで初優勝した吉川剣道協会少年部チームは、初優勝の決意を秘めて会場に乗り込み、予想どおり順調に勝進んでいった。

吉川チームは、予選リーグ戦を、Pブロックで「一宮誠心剣友会」「やまびこ会」等と第3試合場で戦った。

緒戦「一宮誠心」とは基本団体試合では4―1で不利だったものの、一本勝負試合では4―0で圧

倒し、5―4で退けた。続く「やまびこ会」には、基本、一本勝負共に圧倒し6―2で勝利、「一宮誠心」「やまびこ会」の試合結果を待たず、決勝トーナメントに駒

「尼崎市成文剣友会」。先鋒引き分けの後、次鋒、中堅、副将とつて3―0で突き放す。続いて「宍粟剣道連盟少年部」だ。宍粟市の各教室から有力選手を集めた



準優勝の吉川剣道少年団チームと指導者

を進めた。

決勝トーナメントで戦は、団体対抗試合として3本勝負で争われる。33チームが残った。三木市では唯一の進出である。吉川の決勝トーナメントの最初の相手は

精銳チームだ。しかし、これも3―0で圧倒、1本も許さなかった。準々決勝は、同じ東播地区の「加古川警察少年剣道会」、こことは先の東播大会で対戦している。絶好調の次鋒岡坂蓮、中堅石原颯一

朗が踏ん張り2―1の僅差で退ける。続く準決勝戦は最大の山場だ。相手は、昨年優勝の第1シード「太子丹生会」だからだ。しかし、予想に反して中堅を除く他の4名が落とさず、あつさり3―1、勝本数も5―2で一方的に下した。

いよいよ決勝戦である。念願の初優勝は目前、しかも相手「つじが丘少年剣友会」とは、5月の中兵庫大会で出会い、破っている。さあ、試合がはじまった。だが、どうしたはずみか、流れは吉川には来なかった。初優がかかった決勝戦で固くなったか、油断からか、先鋒橋間以下中堅までの精銳が、つじの3人に枕を並べて1本負け。副将池田聖彬が一矢報いたが大将も敗れ、結局1―4で優勝を逸した。まさに「流星光底長蛇を逸す。」（上杉謙信「川中島」）―大物の相手を討つ絶好の機会に恵まれながら、打ち損じて逃がしてしまう無念さという言葉―という心境の手島昇監督であった。

とはいえ、「少年剣道のつどい」準優勝は、これまで三木の各教室が達成したことがない大殊勲で堂々の凱旋だった

# 吉川剣道少年団 準優勝までの軌跡

## 「少年剣道の集い」全7試合の成績

予選リーグ戦										
チーム名	先	次	中	副	大	基本	1本勝負	本ノ勝		
吉川剣道少年団	橋間	浅野	石原	池田	三藤	6/1	4/4	10/5		
	1 コ	0	③メ	1メ	1メ					
一宮誠心	②	③	0	②	②	9/4	0/0	9/4		
	田路	木村	谷口	栃尾	中尾					

予選リーグ戦										
チーム名	先	次	中	副	大	基本	1本勝負	本ノ勝		
吉川剣道少年団	橋間	岡坂	石原	池田	三藤	11/4	2/2	13/6		
	1	②メ	③メ	③	②					
やまびこ会	②	1	0	0	1コ	4/1	1/1	5/2		
	合田	黒阪	芳井	羽根田	東					

決勝トーナメント戦						
チーム名	先	次	中	副	大	本ノ勝
吉川剣道少年団	橋間	岡坂	石原	池田	三藤	6/3
	メ	メ	メ	メ	メ	
央粟	②			②		0/0
	佐々木	祐谷	佐々木	山上	小林	

決勝トーナメント戦						
チーム名	先	次	中	副	大	本ノ勝
吉川剣道少年団	橋間	岡坂	石原	池田	三藤	4/3
	メ	メ	メ	コ	メ	
一宮誠心	②			②		0/0
	田路	木村	谷口	栃尾	中尾	

決勝トーナメント戦(準決勝)						
チーム名	先	次	中	副	大	本ノ勝
吉川剣道少年団	橋間	岡坂	石原	池田	三藤	5/3
	メ	メ		メ	メ	
太子丹生会	②	コ	コ			2/1
	大木	玉手	大竹野	圓尾	植木	

決勝トーナメント戦(準々決勝)						
チーム名	先	次	中	副	大	本ノ勝
吉川剣道少年団	橋間	岡坂	石原	池田	三藤	4/2
	メ	メ	反		メ	
加警少	②			コ	メ	2/1
	水田	土井	上吹越	道	大西	

(お知らせ)  
吉川剣道協会会長、吉川剣道少年団の指導者として吉川地区少年剣道の普及・振興に大いに貢献された手島昇先生が、さる7月14日ご逝去されました。享年65歳。ご冥福をお祈り申し上げますとともに謹んで哀悼の意を表します。

決勝トーナメント戦(決勝)						
チーム名	先	次	中	副	大	本ノ勝
吉川剣道少年団	橋間	岡坂	石原	池田	三藤	1/1
				メ		
つつじが丘	メ	メ	メ		メ	5/4
	松山	松山	本岡	奥所	藤田	



## 六、七段昇段審査で3名が合格

森下先生(七段)、西岡先生(七段)、大西先生(六段)

おめでと〜うございます。



## 七段昇段審査

森下 哲次

現在は六段に合格してから六年しなれば年齢のいかんを問わず七段に挑戦できません。

平成16年11月に六段に合格してより本当に長い時間だと感じ

ました。今から思っても仕様がありませんが、五段以上の挑戦を16年間も諦めていたことに後悔しています。70歳になる年にやっと七段に到達できました。これでは、剣道を通じて何がしかのお役に立てられる年齢を過ぎてしまったのではないのでしょうか。

さて、修練すればするほど自信が消えて行きました。気力や体力は衰え、技術は思うに任せず、修練の目標も見えなくなる毎日でした。挫けそうな気を励まして稽古に引き出していたのは、三木市剣道連盟名誉会長の小紫邦夫錬士であり、諸先生方のご指摘が暗闇に光を与えていただけたことは、感謝してもなお余りあるありがたいお

心でした。

又沢山の仲間達の稽古を見せただけながら「まねび」、取り入れさせていただきました。この場をお借りしてお礼をさせていただきます。

学生時代に、僅か一年足らずのご指導ではありましたが、武道専門学校最後の卒業生で幅広く活躍された恩師、古谷福之助範士が残された「素位行」が剣道人の心、立会いでの心ではないかと今回の審査で教えられました。これからも範士の言葉を胸に、背伸びをしない修行でより深い悟りを知る旅を続けようと思えます。

審査会場で松永政美範士から「声を出せた者は合格していますよ」と初めに説明があり、兎

に角この言葉に賭けてみよう。ただそれだけで審査に臨みました。声を出そうとしても会場はおろか自分達のコートでも伝わっていないような発声だと落胆しながらも前に歩を進め、打ち間に出ようとした瞬間、相手に先手を取られました。万事休すである。その後思い直して「観見の目を明らかに」した途端、打ち込もうとも思わずただ相手の気持ちのままに体が動き始めました。打とうとしていませんから強度が出ないのです。これでは不合格だと立会いが終わってしまいました。だから年寄りに対する「これからも稽古を続けなさい」という温情で昇段を認めていただけたのではないのでしょうか。

正に「干し柿」。いくら食べても「へた」しか残らない愚輩でも昇段が出来るので、皆様は当然その上に進まれることを応援しています。これからもご指導をお願いします。審査員の温情に改めて感謝し、剣道連盟の先生方や後進の方々にご心よりお礼申し上げます。

## 剣道七段昇段の御礼

西岡伸泰



平成23年4月30日(土)、  
京都での七段審査に合格させて  
いただきました。

中学生から始めた剣道、藤原  
淳作先生に竹刀の持ち方から教  
わり、その後三木中央少年剣道  
教室の子どもたちと神澤正輝先  
生をはじめ仲間の指導者に支え  
られてここまで続けることがで  
きました。

そしてこの度審査に合格でき  
たのも、長い年月をかけて三木  
市剣道連盟の各先生方からご指  
導いただいたおかげです。本当  
に有難うございました。

今回の実技審査で特に気をつ  
けて臨んだ流れを書いてみます。  
これから昇段審査に行かれる先  
生のご参考になれば幸いです。

- ・安栖先生からの一足一刀まで  
の攻め方。
- ・黒田忠夫先生からの打突前の  
溜めについて。
- ・田中達夫先生からの足の使い  
方。

・小椋治朗先生と松皮隆夫先生  
からの打ち切りと残心。  
これらの教えが実技審査でう  
まくできたと思います。

そしてその後すぐに行われた  
形審査は、小紫邦夫先生と森下  
哲次先生が自分たちの大切な練  
習時間を後回しにして、私に剣  
道形の指導をしてくださったお  
かげです。本当に頭が下がり感  
謝しております。

これからは、このように多く  
の先生方からの心づかいに一步  
でも近づきながら自分の剣風を  
求めて練習を重ねてまいります。  
これからもよろしく御指導を  
お願い申し上げ、昇段の御礼と  
させていただきます。

## 剣道六段に合格して

大西 健



これまで四回受審してことごと  
く失敗し、もう年齢的に見ても合  
格率は低くなり、今回も不合格な  
らもう受審するのは止めようと必  
死の覚悟で臨んだ六段審査、過去  
の審査では立ち合い前にはああし  
てこうしてと思ひ浮かべて臨むつ  
もりだったが、「始め！」の声か  
掛かると頭が真っ白になり何も考  
えることなくやみくもにバタバタ  
と打ち合うだけで当然の結果にな  
りました。だが今回は不思議と落  
ち着いて諸先生方から教えて頂い  
たように気合を入れて立ち合い、  
下がることなく間合いを詰め10  
秒ぐらいいは相手の剣先を殺し中心  
を外すことなく動きを見、思い切  
って打ち間に入り、攻め込み一気

に面を打ち切ると相面となったが  
中心をとっていた分有効打となり  
その後、出小手も決まりまた時間  
的に余裕があったので打ちすぎた  
きらいがあったかとも思うが1人  
目を終わり、二人目も落ち着いて  
対処できました。その後合格発表  
まで不安でドキドキしておりまし  
た。やがて発表となり受審番号  
「564A」を確認し思わずヤッ  
ターと心の中で叫んでしまいました  
た。剣道形も落ち着いて出来、無  
事合格となりこれまでなら、京都  
市立体育館から阪急西京極駅まで  
歩いて約10分、重い防具袋をか  
ついでの辛い帰宅も今回は何とも  
心地よく感じられました。

勿論ここに至るまでは諦めず  
努力稽古したからでもあるが、そ  
れよりも増して当教室での諸先生  
方、連盟の諸先生方の惜しみない  
助言、及び稽古をつけて下さった  
賜物と深く感謝しております。誠  
にありがとうございます。

今後はこれがフロックと思われ  
ないよう老いに鞭打って一生懸命  
稽古に励む所存ですので今後とも  
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願  
いいたします。

# 流汗鍛錬、東播の剣友三木市に集う

## 5.21 東播地区協議会主催稽古会、 6.4 剣道指導法・審判法講習会を実施

### 東播地区稽古会

5月21日(土)

三木ホースランドパーク・エオの森  
森研修センター

東播地区協議会主催稽古会が三木ホースランドパーク・エオの森で行われ、東播各地から約60名が参加して盛大に行われた。

各市町輪番で行われるこの稽古会は、本年は東播八市親善剣道大会が行われる三木市が会場市。冒頭石市の平野東播地区協議会長のあいさつの後、安栖成人指導部長の指揮で稽古が始まった。

エオの森研修センターの「道場」に、熟練の剣士たちの熱気と気迫のこもった竹刀の打ち交わす音が充満し、あっという間の一時間あまりの稽古会で、参加者全員が心地よい汗を流した。

当日午後から、東播少年剣道連盟役員会、引き続き東播八市剣道連盟役員会が当研修センター会議室で行われた。

役員会では、来る8月21日に吉川総合公園文化体育館で行われる東播八市親善剣道大会団体戦の



鋭い気合で稽古をする参加者

組み合わせをはじめ、大会運営等が慎重に協議された。

三木市からは3チームが出場。ここ3年連続3位と地力も付いてきたわが市であるだけに選手諸君の奮闘を期待するとともに、会場市として悲願の本大会初優勝をめざす。

### 東播地区剣道指導法・ 審判講習会を実施

6月4日(日)三木市コミュニ  
ティスポーツセンター

東播地区協議会主催の審判法・指導者講習会が三木市を会場市として6月4日、午前9時より東播各市郡町から114名

の剣士を集め、盛大に開催された。講師は、兵庫県剣道連盟より、内濱誠志教士八段をお招きし、午前中は日本剣道形の講習、午後は、審判法の講習、引き続き合同稽古と一日中みっちりスケジュールで、午後4時までに参加者全員がいい汗を流した。



内濱教士8段の講義



日本剣道形についての指導



# 兵庫県高等学校総合体育大会剣道大会結果

(6月3・4・5日 兵庫県立武道館)

近年の剣道人口の減少と、3年生にとって県大会が最後になるようにとの配慮から、今年度の団体戦は男女ともオープン参加となりました。個人戦は昨年までと同様に、地区予選を勝ち抜いた選手（東播はベスト16）と各校1名のオープン参加枠があります。三木勢は男子団体に3校、女子団体に1校が参加し、個人戦は男女合わせて8名（予選通過者は濱名、長田、吉村）が参加しました。結果は下記のとおりです。

男子の団体戦は、秋の新人大会の結果からもう少し上位を狙っていましたが、残念な結果に終わってしまいました。個人戦に関しては、昨年度、出場選手が全員初戦敗退でしたが、今年度は半数が初戦を勝ち上がり、三木東の吉村が4回戦（236名中のベスト32）まで勝ち残りました。

この大会を区切りに3年生は一

線を退き、2年生中心の新体制となります。学校によっては新入部員（1年生）の差はありますが、男子に関しては3校（三木、三木北、三木東）とも今より上を狙えるメンバーはそろっていると思います。ただ、女子に関してはどの学校もほとんど入部しておらず、厳しい状況です。

新チームの次の目標は8月の県民大会になります。今後、合同練習会や合宿など計画を立てれば連絡させていただけますので、三木市剣道連盟の先生方にもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

なお、自由が丘中学校から須磨学園に行った伊藤舞が女子個人戦で準優勝し、8月に青森県弘前市で行われる全国高校総体（インターハイ）に出場します。

三木東高校 武中敏彦

校名	三木	三木北	三木東
3日 女子団体戦	1回戦 三木0-3 姫路飾西	不参加	不参加
4日 男子団体戦	2回戦 三木3-1 洲本実業 3回戦 三木1-2 姫路西	2回戦 三木北4-0 兵庫工業 3回戦 三木北2-3 社	2回戦 三木東5-0 市伊丹 3回戦 三木東1-3 県立大附
5日 個人戦 女子	濱名 初戦敗退 中谷 初戦敗退		胡谷 初戦敗退
個人戦 男子	寺尾 初戦敗退	長田 2回戦進出 戸田 2回戦進出	谷口 2回戦進出 吉村 4回戦進出 (ベスト32)

月々の便り

丹野骨平 (こっぺい)

## 燕月緑句

萌黄を圧(お)して 紅平戸  
旅で詠まれし 杜若

萌黄を圧して 紅平戸  
三人扶持の 屋敷井戸

萌黄を圧して 紅平戸  
国主の家紋 軒瓦

萌黄を圧して 紅平戸  
故郷潰えて 民残る

萌黄を圧して 紅平戸  
昭和の童も 早や傘寿